

企画提案書作成要領

I. 提案に際して

- これまでの品川区の検討状況を十分に踏まえた提案内容となるよう留意ください。
- 品川区のホームページから、「品川区地域公共交通基本方針（令和2年10月策定）」や「品川区コミュニティバス導入計画（令和3年2月策定）」、品川区地域交通検討会や品川区地域公共交通会議で使用した資料などが閲覧できます。

II. 企画提案書の作成上の注意

- 以下Ⅲ.に示す記入要領を参考に、「品川区コミュニティバス大井ルート運行事業簡易型プロポーザル実施要領」の様式7（企画提案書フォーマット）に直接記入してください。
- 様式7にも斜体字や※印を用いて注意書きを記載していますので、確認ください。なお、使用時には適宜削除していただいて構いません。（とくに斜体字は削除ください。）
- 様式7のページ数は、A4サイズ20ページ以内（表紙や運行経路図を含まない）とし、必要に応じて欄を拡大したり、ページをまたがる場合は表を分割・結合するなどしてください。
- 内容は簡潔に分かりやすく記載してください。
- 提出体裁は、両面印刷とし、各ページの下中央部に通し番号を付し、左側2か所をステープラー等で綴じてください。なお、A3サイズの図面（運行経路図）は折込みとし、企画提案書の最終ページ（様式7の最終ページの次葉）となるように綴じてください。
- 企画提案書には、事業者が判別できる社名、印、ロゴマーク等を記載しないでください。

Ⅲ. 記入要領

1. 運行内容に関する事項

1) 路線計画

項目	記入要領
①起終点の位置	<ul style="list-style-type: none"> • 起点と終点は一致させてください。 • 基本的には「西大井駅」になります。別の起終点を設定する場合はその位置が特定できるように記載ください。
②運行経路図	<ul style="list-style-type: none"> • 様式7とは別に作成ください。 • 図面はA3判横とし、方位の向きは上を北、縮尺は自由とします。 • 運行経路、主要施設、主な経由地における起点からの所要時間などを表記してください。
③主な経由地	<ul style="list-style-type: none"> • 主な経由地を列記ください。 • 経由地は、直接経路に面しない近傍地を記載いただいても構いません。
④路線距離	<ul style="list-style-type: none"> • 路線距離(km)を記入ください。（小数点第一位まで） • 区が示した路線距離はおおよその数値のため、より正確な数値があれば、そちらを記載ください。
⑤所要時間	<ul style="list-style-type: none"> • 起点から終点までの所要時間(分)と、想定している表定速度(km/h)も記載ください。（表定速度は小数点第一位まで）
⑥路線計画の課題と対応策	<ul style="list-style-type: none"> • 提案する路線計画について、運行に向けた課題があれば、その対応案とともに記載ください。 • 区が示しているルート案と同一のルート案を提案する場合でも、記載いただいても構いません。
⑦路線計画の考え方	<ul style="list-style-type: none"> • 区が示しているルート案と異なる提案をする場合は、理由やメリット等を記載ください。

2) 運行計画

記入要領
<ul style="list-style-type: none">①～⑧の各項目について示してください。区が示す2種類の様式のどちらかを用いることが好ましいですが、それらの様式では提案内容を示すことが難しい場合は、すべての項目について示しているものであれば様式は自由とします。④の運行本数は、1日あたりの本数(便数)を記載ください。⑤のバス停間隔は、現時点で想定している間隔を記載ください。⑦の必要車両台数は、括弧外に予備車両を含めた台数を、括弧内には予備車両の台数をそれぞれ記載ください。⑧の運行計画の考え方は、区が示している運行条件と異なる提案をされる場合において、理由やメリット等を記載ください。

2. 事業の経済性に関する事項

1) 車両購入費と区の補助対象経費の試算

(1) 車両購入費

記入要領
<ul style="list-style-type: none">様式に従って各項目を記入ください。バス車両本体の購入費における台数は、予備車両も含めた台数を記載ください。バス車両本体の購入費には、その他の費用に記載する費用は含めないでください。その他の費用には、車両本体のほかに乗合運行に必要な費用を記載ください。 例) ・つり革やシート表皮、車内広告設置用機器等の特別仕様への変更による費用<ul style="list-style-type: none">路線機器(運賃箱、ICカードシステム、LED行先表示器、音声合成案内装置等)の購入・設置費新型コロナウイルス感染症対策費(車内の抗菌触媒加工、アクリル製仕切りの取付け、換気扇の増設等)車体外装ラッピング費等その他の費用の記入にあたり、行が足りない場合は適宜追加ください。自賠責保険や任意保険等に係る費用は、運行経費として扱い、計上しないでください

(2) 区の補助対象経費の試算

記入要領
<ul style="list-style-type: none">様式に従って①～③の各項目に記入ください。①の車両購入費は、(1)車両購入費の合計に記入した値を記載ください。②の国や東京都、その他の団体からの補助金は、これまでの経験から見込まれる額を記載ください。また、これらの補助金を活用しない場合は、当該欄には「0」と記載ください。③の区の補助対象経費は、①の車両購入費から②の国や東京都、その他の団体からの補助金を減じた額を記載ください。

2) 運行収支の試算

(1) 3年目(本格導入評価対象年度)における運行収支の試算

記入要領
<ul style="list-style-type: none">様式に従って各項目を記入ください。②の運賃収入は、3.2)②ア)において提案する料金体系の<u>工夫を反映しない数値</u>を記載ください。(工夫を反映した運行収支の試算は、別途後段で行っていただくこととなります。)③のその他収入には、区からの補助金を含まない場合の数値を記載ください。⑤の運行経費は、車両の減価償却費を除く経費としてください。また、運行経費の内訳(人件費、燃料費、車両維持・修繕費、諸経費)も記載ください。

<続き>

- ⑧の提案する運賃は、収支率 50%以上となる運賃の中から選択してください。
- 100 円、150 円、220 円以外の運賃を提案する場合のみ、表の最右列（運賃額および①～⑦）にも記載ください。
- なお、乗車区間(乗降車位置)によって運賃が変動する提案を行う場合は、最上段最右列には複数の運賃額を記入し、運行経路図に各運賃の区間がわかるような記載をしてください。
- ⑨の年間利用者数の設定の考え方は、こういったデータを利用してどのように設定したのか、具体的な計算方法も含めて記載ください。
- ⑩の提案する運賃とした理由については、他運賃との比較やその他要因など、御社の考えを記載ください。

(2) 試行運行全期間における運行収支の試算

記入要領	
<ul style="list-style-type: none"> • 様式に従って、(1)において提案した運賃での試算を各項目に記入ください。 • 継続運行効果（利用者数の増加）を踏まえて示してください。なお、ルート変更やダイヤ改正、運賃改定等は見込まないものとしてください。 • 項目①～⑦の記入方法は、(1)と同様です。 • 令和4年3月の試算値は1か月分の試算値としてください。試算が難しいようであれば、令和4年度1年間の試算値を12（か月）で除した値としても構いません。 • ⑧の試行運行期間中における継続運行効果の考え方では、①～⑦の試算値を年度によって増加または減少させている場合は、その考え方を示してください。（年度によって試算値の変動がない場合も、その理由を記載ください。） 	

3. 事業の運営に関する事項

1) 安全・安心で円滑な運行に向けた取り組み

項目	記載要領
①運行管理 ア) 車庫の所在地 イ) 車庫からの距離 ウ) 回送に要する時間 エ) 運行体制	<ul style="list-style-type: none"> • 様式に従って各項目を記入ください。 • ①のア)～ウ)は、使用を想定している車庫に関して記載ください。 • ①のエ)は、提案する路線計画・運行計画において、どのような運行体制を考えているのか記載ください。 <p>例えば、とある1日において、3台で運行していたとしたときに、運転手の交代等のための車両の入れ替わりをどのタイミングで実施するのか。</p> <p>ほかには、運転手は本区のコミュニティバスの専属なのか、それとも違う路線の運行にも携わるのか。違う路線の運行にも携わるのであれば、本区のコミュニティバスの運行とのローテーションはどのように考えているのか。</p> <p>また、そのように設定した理由はあるのか。 など</p> <ul style="list-style-type: none"> • ②～⑦は、とくに PR したい事項を中心に示してください。
②緊急時の対応	
③荒天時の対応	
④苦情への対応	
⑤安全確保への取り組み ア) 運転手体調管理 イ) 運転手マナー教育 ウ) 車両の整備管理 エ) 新型コロナウイルス感染症対策 オ) その他の取り組み	
⑥バリアフリーへの取り組み	
⑦環境に配慮した取り組み	

2) 事業の経済性向上・利用促進の取り組み

項目	記載要領
①事業採算性の向上のための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 収入増加に向けた取り組み（車内広告や協賛金制度）や運行経費削減の取り組みを記載ください。 2. 2) の運行収支の試算は、本取り組みを実施していると仮定して行ってください。
②利用促進策の工夫	
ア) 支払方法・料金体系による工夫	<ul style="list-style-type: none"> (概要) では、各項目の可否について○をしてください。 (具体的な内容) では、(概要) で○をした項目について、具体的な金額や割引率、方法等を提案ください。 2. 2) の運行収支の試算は、本工夫を反映していないものとして行ってください。 ※本工夫を反映した運行収支の試算は、別途後段で行っていただくこととなります。
イ) 地域住民と協力した工夫	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民の協力が得られると仮定して提案ください。
ウ) その他の工夫	<ul style="list-style-type: none"> その他の工夫がありましたら提案ください。
③地域住民との協力の実績	<ul style="list-style-type: none"> 路線バス等での実績も含め、示してください。
④運行改善への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 試行運行開始後 1～2 年目において収支率 50%を下回ってしまった場合を想定し、取り組みを記載ください。

◆3.2)②ア)に掲げる支払方法・料金体系などの工夫を実施した場合の運行収支の試算

項目	記載要領
(1) 3年目(本格導入評価対象年度)における運行収支の試算【支払方法・料金体系工夫有】	<ul style="list-style-type: none"> 各項目の記入方法は、2.2) (1)と同様です。 最右列は、2.2) (1)で記入した場合のみ記入ください。 2.2) (1)で示した運行収支の試算から数値が変化した欄は、水色で着色ください。 ⑧の提案する運賃は、2.2) (1)と異なるものでも構いませんが、その際は後段の(3)において理由を記載ください。
(2) 試行運行全期間における運行収支の試算【支払方法・料金体系工夫有】	<ul style="list-style-type: none"> 御社が(1)において提案した運賃での試算を記入ください。 各項目の記入方法は、2.2) (2)と同様です。 2.2) (2)で示した運行収支の試算から数値が変化した欄は、水色で着色ください。
(3) 支払方法・料金体系などの工夫を実施したことによる試算の変化に関する考え方	<ul style="list-style-type: none"> 支払方法・料金体系などの工夫を実施したことに伴い、利用者数や運賃収入などを変化させた場合は、その考え方を示してください。 逆に、支払方法・料金体系などの工夫を実施しても、利用者数や運賃収入を変化させていない場合は、同様にその考え方を示してください。

4. その他

1～3の各項目以外に、PRしたい事項があれば自由に記入ください。